Winds.nex

OSAKAN Magazine
NO.22
SPRING

Listen to Wind Music!
吹奏楽

今回はオオサカンメンバー全員集合!!

特別編

連載企画

オオサカンな談話室★第5弾!!

オオサカン、豊能町へ!

— 豊能町とオオサカンのこれから —

密着!

ええとこどり Vol.3

レコーディング

演奏会レポート

大好きってすごい♪ ウインドバンド・フェスティバル'11

豊能町×オオサカン 協定調印記念 特別演奏会

オオサカンアカデミー・ウインドバンド 第2回ファミリーコンサート

2011年5月1日(日)発行

今回は特別編でお届けします！

連載企画！オオサカンな談話室 特別編

　豊能町とオオサカンは、教育・文化・芸術などの振興に関する協力連携の協定を結びました。これから、どんどんとユーベルホールでの演奏会が増えていきます。定期演奏会も4月で10回を迎え、まさにオオサカンにとって記念すべき年。

　今回は音楽監督の木村吉宏氏とトランペット奏者でありチーフマネージャーの松尾共哲氏に、豊能町とオオサカンのこれからについてお話を伺いました。

――今年初めにユーベルホールでのニューイヤーコンサートを行いましたが、その時のお客さんの反応はいかがでしたか？

木村：すごく喜んでいたと思うよ。このホールでプロの吹奏楽の演奏はニューイヤーコンサートが初めてだったんと違うかな？ホールがそんなに大きくはないからうるさいかなと思ったけど、そうでもなかったみたいやね。だから良かったと思う。

松尾：あの時にラデツキー行進曲を指揮して頂いたお客さんの喜び方を見ると、本当にやって良かったなと思いますよね。

木村：豊能町にユーベルホールを守る会があって、閉鎖しようとしていたホールもその方たちの協力があってここまで来られたわけやけど、ああやって喜んでもらえると値打ちあるね。演奏会を増やしていくことも含めて、我々もここのために何かしようといろんなことを考えているところです。

――例えばどんなことでしょうか？

木村：ここで演奏会をするにしても、まずは町民の意見を聞いていきたい。どういうものを求めているか、お互いに話し合いして…

松尾：町民のために、それが第一前提ですよね。

木村：そうやね。それで町民の意見も聞くけども、「私たちは少し難しい曲もやりたいんです、こんなものもどうですか？」と提案をしていきたい。そういうのに慣れてくれば、町自体の音楽のレベルが上がっていく。

松尾：なるほど。今も鑑賞会など少しずつ声をかけていただいているので、それにどんどん応えていけたら良いなと思っています。

木村：そうやって演奏会もどんどん増やしていって、ここが一つの吹奏楽の出発点になったらいいなと思う。ここから火の粉があがったら日本にこれが広まってくるかもしれへん。ここが最初のスタートなんですよ。

松尾：豊能町が吹奏楽の町になるというか…。町民の方たちと作っていけたら良いですよね。

木村：例えばオランダには、人口8000人で、100人の一般吹奏楽団がふたつもある町があるんや。小さい子供からおじいちゃんおばあちゃんまでみんな管楽器をやっている。そういう文化が根付いている町もある。そんな風になっていけたら良いんと違うかな。

――そうなっていったら素敵ですよね！

松尾：もともとね、ユーベルホールが町の財政難で閉鎖しようとしていたところをオープンして頂いたわけですし、ここで催し物をしていくことで人が集まって再生していくというのが世間に出れば…

木村：再生「したら」な！（笑）させなあかん！

松尾：そうですよね！それが僕たちの使命であって…良い演奏はもちろん、いろんな演奏会を企画していこうと思っています。

――なるほど…通常練習もユーベルホールで出来るようになるわけですし、様々な企画や準備もしていきやすいですよね。本番と同様に練習出来るというのも、私たち奏者にとってありがたいことですし…

松尾：ホールで練習出来るというのは、先生にとっても音楽を作っていきやすいのではないでしょうか？

木村：確かにやりやすい。これだけの空間があることはまずないし、音色も作ってくれる。体育館でやったら響きすぎるから、いろんなことやらないかんし合わせにくいけど、本番と同じようにやれるというのは最高ですよ。上達する材料が揃ったわけや（笑）さてそこからお互いにどうしていくか。一つのものを目指してやったら、どこにもないものが出来るかもしれへん。もっと良い事が出来るという可能性がいっぱいある。

松尾：やっぱりここに来られたということは本当に価値のある事ですね。

木村：ほんとにすごいと思うよ。いろいろやりたい事を僕自身もこのバンドで実現してきているし、それも含めて僕が一番幸せかもしれへんな。

一同：えぇ！（驚）

木村：ホールを持ったら音も変わってくる。お互いにみんなで一つのものを聴きながら練習できるし…指揮者が一人でやるんと違う。みんなでやる。自分がやっている事、相手がやっている事を聴いて研究していく。これが団体にとって一番ええことや。そしたら一番良いものが出来てくる。たくさん人数がいるほど意見もいっぱい出てくるし、お互いに研究していったらええねん。みんなが一つのものを考えていくことで、それがオオサカンの特徴になって、オオサカンの音になるんや。

松尾：なるほど…練習でも先生から問いかけられることで、すごく考えながら演奏していたと思いますし、良い演奏になっていくのが本当に分かります。

木村：良い演奏って何かというと、難しい事がうまく出来るということではなくて、観客と一体感を持つということだと思う。舞台から感じられるムード、文章ではあらわしにくいけど、空間にメンバーの魂が飛んでいるというか…。これが「良い演奏」やと思う。

松尾：なるほどね…日本はコンクールの文化もあってかどうしてもミスだとか音程を気にしてしまいますけど…その方が大事だっていうことですよね。やっぱりお客さんに対して何かをやっているということだから…

木村：みんなの気合いが入った音、心のこもった音というのが何物にも代えがたいと思うよ。そういうものが多分出てくると思う。ミスやずれを気にするのとは違う、バンドで一個のまとまった音…これが本物の吹奏楽やと思えると思う。いつになるかわからへんけどこれはきっと出来る。そうなると「音楽やってきて良かった」とプレーヤーが思えるやろうし、「一生やっていくものとして音楽を選んで良かった」という喜びを早くみんなに味わわせたいな、と思うわけや。

一同：ありがとうございます！

今回お話を伺うことで、木村先生のオオサカンに対する思いの熱さを感じました！
これからユーベルホールで、奏者としても木村先生とともに作る音楽を磨いていき、
より良い演奏を皆様にお届けできたらと思います。
素敵なお話をありがとうございました！

オオサカン、豊能町へ！

豊能町とオオサカンは、この度、教育・文化・芸術等の振興に関する協力連携の協定を結びました。その豊能町にあるユーベルホール（ドイツ語で歓呼・歓喜・万歳の意）を拠点として、これからオオサカンは演奏活動を行ってまいります。

2011年 ユーベルホールでの演奏会予定

5/21 Sat
14：00~15：00
昼下がりの音楽会Vol.29
【金管五重奏】

6/25 Sat
14：00~15：00
昼下がりの音楽会Vol.30
【サックス四重奏】

7/23 Sat
午前の部 11：00~12：00 ／ 午後の部 14：00~15：00
親子ふれあいコンサート
【吹奏楽】 指揮：オリタ・ノボッタ

7/30 Sat
14：00~15：00
昼下がりの音楽会Vol.31
【トロンボーン三重奏】

8/27 Sat
14：00~15：00
昼下がりの音楽会Vol.32
【クラリネット&ギター】

9/17 Sat
14：00~15：00
昼下がりの音楽会Vol.33
【フルート独奏】

12/23 Fri
時間未定
オオサカンクリスマスライヴ'11
【吹奏楽】 指揮：オリタ・ノボッタ

※諸般の事情により公演の内容は変更になることがあります。
♪昼下がりの音楽会は毎月開催してまいります！

ユーベルホールとオオサカン

大阪府の北端に位置する豊能町は「歴史と自然が出会うまち」と銘打たれている通り、花や緑であふれた自然いっぱいの町です。

ホールには行き届いた設備や広い駐車場もあり、とても使いやすいホールで、響きも美しく、すでに演奏会やレコーディングで大活躍！

演奏会ではお客様一人ひとりの顔が見えるので、メンバーも楽しく演奏出来ています。

またロビーでは、毎月オオサカンのメンバーが「昼下がりの音楽会」も開催していきます。

これからもこのユーベルホールを中心として、皆様にいろいろな音楽を楽しんで頂けるよう頑張りますので、ぜひ会場に足を運んで頂けたらと思います。

豊能町×オオサカン協定調印記念 特別演奏会

第一部は木村氏によるステージ

オープニングを飾ったのは、この日のために木村吉宏氏が吹奏楽アレンジをした「豊能町歌」。今回は豊能町とオオサカンの協定調印を記念し、豊能町教育委員会教育長小川照夫氏の指揮で演奏いたしました。

第一部の目玉は女性ソリスト達の華麗な演奏☆トランペットトリオが主役の「トランペット吹きの休日」、クラリネットをどんどん小さくしながら奏でる「インマー・クライナー」、そして情熱のマリンバソロ「チャルダッシュ」と、それぞれの楽器の魅力を存分に味わって頂けたのではないでしょうか？

そしてスペインの香り漂う「エル・カミーノ・レアル」。オオサカンらしい熱い演奏に会場も沸き、第一部は幕を閉じました。

トランペットパート女性三人による「トランペット吹きの休日」

第二部は衣装も雰囲気もガラッと変えてのポップス三昧！楽員指揮者・松尾共哲のタクトのもと、素敵な照明と、いつもよりさらに気合いの入ったパフォーマンスでステージを盛り上げます☆

オープニングの「カーペンターズ・フォーエヴァー」ではさっそく会場から手拍子が！そして伝説のアイドル『山口百恵ヒットソングメドレー』の「いい日旅立ち」では、トランペットソロが光り、また大人の本気が垣間見えたパフォーマンスが曲中にちりばめられ、客席を沸かせました☆

そして青く照らされた舞台で「パイレーツ・オブ・カリビアン」の世界へと客席をいざない、曲が終わった瞬間に「ブラボー！」との声。アンコールでは客席の皆様と一緒に「ふるさと」の大合唱！会場中に歌声が響きわたりました。そして拍手が鳴りやまぬ中、木村氏が再び登場、『星条旗よ永遠なれ』で幕を閉じました。

どんどん楽器を分解していきながら演奏する「インマー・クライナー」

第二部は趣向を変えてポップス三昧！

協定調印を記念した演奏会でしたが、吹奏楽ならではのサウンドからポップスの楽しい曲の数々をお聴きいただき、会場と一緒に盛り上がったオオサカンらしい「ええとこどり」な演奏会となったのではないでしょうか？これからも豊能町とオオサカンの企画する演奏会を行ってまいりますのでぜひご期待下さい！

パフォーマンスたっぷりの「チャルダッシュ」

大好きってすごい♪ オオサカン ウインドバンド・フェスティバル'11

オオサカンの"バンフェス"、今回は指揮に時任康文氏、解説に鈴木英史氏をお迎えし、盛りだくさんでお届けいたしました！
指揮法マスタークラスなど新しい試みもあり、発見がたくさんあった一日となりました。

公開リハーサル

まずは時任康文氏による公開リハーサル。普段見ることのできない練習風景を見るために、朝早くから多くの中高生たちが会場に詰めかけました。

指揮法マスタークラス

今回、初の開講となった指揮法講座は、時任康文氏を講師にお迎えし、７人の受講生の方々には実際オオサカンを指揮して頂きました。

課題曲は「バラの謝肉祭」と「カヴァレリア・ルスティカーナより間奏曲」。高校生から学校の先生まで、それぞれが勉強してきた指揮を披露し、時任氏の指導を受けました。

受講生の方々は最初は緊張していたようですが、時任氏は、時折笑いを交えながら一人ひとりに丁寧でわかりやすいアドバイスをして下さり、時任氏の音楽や指揮に対する思いが伝わる講座となりました。技術面だけでなく音楽面にも入り込んだ指導で、受講生の方はもちろん、聴講生の方々、私たちオオサカンにとっても勉強になった時間となりました。

小編成レパートリーコンサート

小編成レパートリーコンサートからは、解説に鈴木英史氏をお迎えしました。「ジョイフル・ハーツ」から始まり、徐々に人数を増やし、日本初演となる「ラプソディック・セレブレーション」や、昨年コンクールで話題となった鈴木英史氏編曲の「マ・メール・ロワ」など、5曲を演奏しました。小編成の学校も多い中、参考になったのではないかと思います。

公開講座

昨年に引き続き、打楽器特別講座にはエムズドリームの高橋正一氏をお迎えし、チューニングやお手入れの役立つ話をしていただきました。

また、楽器別講座、ミュート講座など中高生が日頃気になっている部分を解説。特に倍音に関する講座では、実際に倍音を体感でき、聴こえた瞬間には会場からもどよめきが！どの講座も大変勉強になったのではないでしょうか？

みんなで交流ランチタイム

楽器ごとに分かれてのランチタイムは、今年もたくさんの生徒さんが集まり、どのパートもにぎやかな雰囲気で楽しむことができました。楽員との交流だけでなく、他校生同士での交流もあり、大いに会話が弾んだようです。

各種ブースも盛りだくさん！

楽譜閲覧・CD視聴ブース

楽器試奏ブース

楽器調整ブース

打楽器無料診断

課題曲コンサート

小編成コンサートに続き、同じ大ホールで今年度コンクール課題曲コンサートが行われました！多くの中高生が夏の間ずっと触れ合うにも関わらず、なかなかゆっくり鑑賞する機会がない課題曲。このコンサートが一番楽しみで来る学生も多いようです。それぞれの曲での時任氏らしい解釈や聞かせ方も伺うことができました。

時任氏曰く、「今回の演奏をマネしてほしいということではなく、こういう風にも出来ますよという一つの提示。夏ごろになったら少し役立つことがあるのでは」とのこと。音楽に対するテンポや強弱の解釈、楽譜をどのようにおもしろく聴かせるかというところまでこだわった演奏で、大変興味深い内容になったのではないかと思います。

楽譜と舞台を交互に見ながら一生懸命鉛筆を走らせる学生もたくさん。時任さんと鈴木さんによるトークも盛り上がり、あっという間の１時間でした。

ワンポイントアドバイス

ホール内に楽員が散らばり、楽器ごとにあらゆるアドバイスを行いました。間近で演奏を聴いたり質問できる機会とあって、中高生が熱心に聞き入っていました。

バンドコミュニケーションスペース

楽員に加え時任氏、鈴木氏にも直接相談できる場となりました。両氏にサインを求める方あり、面談のようにじっくりお話する方あり…楽譜も閲覧でき、ドリンクを片手に大変充実した時間になりました。

ええとこどりVol.3 レコーディング 密着！

「月刊レコード芸術」誌で準特選盤にも選ばれたオオサカンの「ええとこどり」。
第三作目となる『ええとこどりvol.3』が発売されました！今回はその制作現場に潜入！裏側をお見せしちゃいます☆

練習風景

編集作業に立ち会う松尾氏

自主企画CDである「ええとこどり」シリーズは、収録曲を選ぶところから始まります。前回の広報紙でもレポートしたミッドウエストクリニックで、著名な作曲家に直接交渉しこのCDのために新曲を手に入れてきました。その成果が、ヤン・ヴァンデルロースト氏の『ディプティック』、フィリップ・スパーク氏の『グレートシティへの序曲』、ロバート・シェルドン氏の『メトリックス』。どれも大変面白い作品となっています。また、吹奏楽オリジナル作品の中でも中高生に人気の『セドナ』や『たなばた』、邦人作曲家の中でも人気の高い福島弘和氏の「シンフォニエッタ第2番「祈りの鐘」」など、とにかく吹奏楽作品の「ええとこどり」となるように選曲を行いました。

次に演奏会と同様に練習を進めていきます。指揮はもちろん、当団音楽監督の木村吉宏氏です。実際にレコーディングも行う豊能町立ユーベルホールで、じっくりと練習…奏者にとっても懐かしい曲から新曲まで、木村氏のタクトにより、魅力的な音楽に仕上がっていきます。

オオサカンの「ええとこどり」収録に欠かせない存在といえば、株式会社ワコーレコードの西村和幸氏。レコーディング前日にはあらゆる機材が運び込まれてきます。モニター室の準備やマイクチェックが進められ、だんだんとレコーディング本番に向けて気持ちも高まっていきます。

そしてついにレコーディング本番。これまた「ええとこどり」シリーズに欠かせないディレクターの森田一浩氏の登場です。奏者の緊張感も高まる中、森田氏による厳しいチェックも入りながら、録音を進めていきます。オオサカンは演奏する度に「毎回違う音楽」になるのだそう。奏者自身もテスト録音を聴き、メンバー同士ディスカッションしながら本番の録音に臨みます。木村氏が常日頃言われている「100の1は1、同じものは出ない」という言葉の通り、その時の最高の音楽を求め、録音していきます。森田氏からも「流れがすごく良くなっているので、もう一度！」と言われてメンバーはさらに気合いが入ります（笑）こういう演奏がCDとして残るのは奏者としても大変面白く、CDを聴く度に録音の思い出話に花が咲きます♪

ホールでの録音の後からは、西村氏による編集作業…これに立ち会うオオサカンチーフマネージャーの松尾氏のモットーは、「楽譜が音楽として伝わるように、音楽がどう動いているか伝わるようにすること」。演奏するのとは違った形で音楽に集中できる貴重な時間となっています。曲順は「一つの演奏会を聴いているような満足感が得られるように並べました」とのこと。最後まで聴きたくなる、そして全部聴き終えると「面白かった！」と思えるものになっているのではないでしょうか？

今回もたくさんの人のこだわりが詰まった「ええとこどり Vol.3」、ぜひお聴きください！

タクトでなくトランペットを持つ木村氏を激写！

株式会社ワコーレコードの西村氏による編集作業！

このモニター室で音のチェックをしていきます

レコーディングの様子

♪♪　ええとこどりVol.3 に寄せて　♪♪

森田一浩／作曲家

マエストロ・木村吉宏は、演奏者たちを力ずくで引きまわすことはしない。棒と言葉で丁寧に音楽を説明していく。録音ディレクターとしてセッションに参加する私は、マエストロのもうひとつの耳となってモニターの前に座る。そして、指揮者の気持ちと演奏者の息づかいを全身で受けとめ、第一聴取者となる。こうした立場にいられることがまことに嬉しく、若い力の結束に大きな刺激を受けたレコーディングであったことを、私個人の感想として書き添えておきたい。（CDブックレットより抜粋）

ええとこどり Vol.3

福島弘和：シンフォニエッタ第2番「祈りの鐘」

Now on Sale!!

オオサカンが自信を持ってお届けする『ええとこどり』シリーズ第三弾！
今回もあらゆるシーンで使える曲を『ええとこどり』!!【小編成対応楽曲含む】

収録曲目
- グレート・シティへの序曲／フィリップ・スパーク 作曲
- ガラスの靴～シンデレラの物語～／ポール・ヨーダー 作曲【小編成対応】
- ミュージカル「ミス・サイゴン」より／クロード＝ミッシェル・シェーンベルグ 作曲（宍倉 晃 編曲）
- ハイブリッド・マーチ／後藤 洋 作曲【小編成対応】
- たなばた／酒井 格 作曲
- セドナ／スティーブン・ライニキー 作曲
- ディプティック／ヤン・ヴァンデルロースト 作曲
- シンフォニエッタ第2番「祈りの鐘」／福島 弘和 作曲
- メトリックス／ロバート・シェルドン 作曲【小編成対応】

指揮／木村吉宏（音楽監督）
演奏／フィルハーモニック・ウインズ 大阪
品番／YGMO-2006　定価／2,500円(税込)

熱演！吹コン課題曲2011

Now on Sale!!

今年もオオサカンが
吹奏楽コンクール課題曲を全曲熱演！
時任康文氏によって調理された
課題曲を聞き逃すな！！

収録曲目
課題曲Ⅰ．マーチ「ライヴリー アヴェニュー」／堀田 庸元 作曲
課題曲Ⅱ．天国の島／佐藤 博昭 作曲
課題曲Ⅲ．シャコンヌS／田村 修平 作曲
課題曲Ⅳ．南風のマーチ／渡口 公康 作曲
課題曲Ⅴ．「薔薇戦争」より 戦場にて／山口 哲人 作曲
【ボーナストラック】NHK大河ドラマ「江～姫たちの戦国～」テーマ／吉俣 良 作曲（後藤 洋 編曲）

指揮／時任康文
演奏／フィルハーモニック・ウインズ 大阪
品番／YGMO-3003　定価／1,500円(税込)

お求めはお近くのCDショップまたはオオサカン公式HPへ☆

第2回 オオサカンアカデミー・ウインドバンド

ファミリーコンサート

Listen to Wind Music! 吹奏楽

2月12日、オオサカンアカデミーによる第2回ファミリーコンサートが大盛況の中、無事終了いたしました。「パイレーツ・オブ・カリビアン」「リヴァーダンス」などシンフォニックな曲から、ジャズワルツの「私のお気に入り」、トロンボーンソロの「ユー・レイズ・ミー・アップ」など、聴かせる曲で最後まで盛り上がりました。

また「アンパンマン」に乗せてメンバーからお菓子のプレゼント♪まさにファミリーのためのコンサート、お客さんもたくさんお越しいただき、素敵な演奏会となりました。

演奏会を終えて

――クラリネットパート　中西彩

ファミリーコンサートのコンセプトは、「誰が聴いても楽しい曲、知っている曲」。そのコンセプト通り、選曲の時点から先生方とメンバーの熱い想いが込められています。本番でそれらの曲をお客様が受け入れてくださるか、という不安な気持ちと、お客様と一緒に音楽を感じたい！楽しみたい！という期待の中、演奏会は始まりました。

演奏が始まり、１曲１曲終わるごとに温かい拍手をいただいて、お客様との距離が近づいているのを感じ、最初の不安なんてすぐに吹き飛びました。何より、松尾先生が作ってくださる空気も伴って、とても楽しく演奏することが出来ました。

私どもの演奏会は小さなお子様も入場可能ですので、たくさんのお子様もいらっしゃいました。演奏の途中でグズッても、誰一人それを咎めることもなく、とても温かいアットホームな雰囲気が流れていました。私自身も現在１１ヶ月の子供を持つ母親ですので、同じ親として、このようなコンサートがあるということがとても嬉しいです。

私は、昨年８月よりアカデミーに参加させていただいております。約１７年のブランクを経ての復帰で、しかも子供もおりましたので、とても勇気がいりました。昔のように吹けない自分に、何度も何度も心が折れそうになりました。ですが、思うように吹けない私でも温かく受け入れてくださり、励ましてくださった先生方とアカデミーの仲間、そして家族に支えられての演奏会となりました。

演奏会でのお客様の笑顔や、喜んでくださっている姿を身近で感じることができ、本当によかったと思います。そんな貴重な時間を、音楽を通してお客様と感じられたこと、また先生方や仲間、聴きに来てくれた家族と感じられたことが何より嬉しいです。本当にありがとうございました。

次回のファミリーコンサートもすでに決まっております。皆様の素敵な笑顔に出会えますよう、団員一丸となって練習に励みたいと思います。これからもどうぞよろしくお願いいたします。

次回のファミリーコンサートはこちら！ぜひご来場ください♪ →　オオサカンアカデミー　検索

オオサカンフレンズ募集中!!

オオサカンフレンズに入会して、オオサカンを応援しよう！！

- 特典1　チケット割引購入
- 特典2　CD割引購入
- 特典3　広報紙『winds. net』を送付
- 特典4　コンサート先行入場

詳しくは…　オオサカン　検索